

第7回「炉物理専門研究会」のご案内

日時：2018年11月26日（月）および11月27日（火）
場所：京都大学 複合原子力科学研究所 事務棟大会議室
参加費：11/26の懇親会費1,500円、11/27の昼食代500円

2018年11月26日（月）

- 12:30 受付
- 13:00 - 13:05 開会（敬称略、名大・山本章夫）
- 13:05 - 14:05 **Session I** : Special session（阪大・竹田 敏）
山崎正俊（Studs vik Japan）
「人生100年時代の炉物理キャリアパス」
- 14:15 - 15:45 **Session II** : 核データおよび不確かさ解析（北大・千葉 豪）
方野量太（JAEA）
「Adaptive smooth-lasso を用いた感度係数評価に関する検討」
竹田 敏（阪大）
「水素の熱中性子散乱則の違いによる軽水炉体系での影響」
千葉 豪（北大）
「KUCA 固体減速架台の数値計算ベンチマーク問題」
- 16:00 - 17:30 **Session III** : 炉物理一般（名大・遠藤知弘）
Argo Satrio Wicaksono（阪大）
「Effect of Differences Fuel Materials on Neutronic Parameters in Kartini Research Reactor」
中込宇宙（東芝 ESS）
「未臨界施設での炉物理実験の検討」
山中正朗（京大複合研）
「KUCA における外部中性子源を用いた逆動特性解析の検討」
- 17:45 - 20:00 懇親会

2018年11月27日（火）

- 9:00 - 10:30 **Session IV** : 臨界安全・燃料デブリ（JAEA・山根祐一）
石井亮憲（北大）
「様々な核種の崩壊や生成などを考慮した福島第一原子力発電所内部の放能イ

ンベントリ解析」

木村 礼 (東芝 ESS)

「臨界シナリオに基づくデブリ取り出し作業を想定した臨界挙動解析」

Delgersaikhan Tuya (東工大)

「Supercritical transient analysis using Multi-region Integral Kinetic code: Basics and applications」

10:45 - 12:15 **Session V : KUCA 実験 I** (東北大・相澤直人)

遠藤知弘 (名大)

「ブートストラップ法を活用した Feynman- α 法の実験共分散評価」

加納慎也 (IRID/東芝 ESS)

「臨界近接監視システムの開発(1) KUCA を用いた臨界近接監視システムの検証」

和田怜志 (IRID/東芝 ESS)

「臨界近接監視システムの開発(2) MVP 2.0.33 - Time-list モードの検証」

13:15 - 14:45 **Session VI : KUCA 実験 II** (京大複合研・山中正朗)

大泉昭人 (JAEA)

「KUCA における鉛とビスマスの AI 置換反応度価値の測定」

池田卓弥 (名大)

「KUCA 実験データを利用した粒子フィルタ法による未臨界度推定」

相澤直人 (東北大)

「核破砕中性子源によるウラン-鉛ゾーン炉心 ADS 体系における放射化反応率への中性子スペクトルの影響」

14:45 閉会 (京大複合研・卞 哲浩)

(補足事項)

- 講演者については旅費を支給します。ただし、学部学生および民間企業の方々には旅費が支給できませんこと、ご承知置きいただきます。
- Special session では発表 40 分および質疑応答 20 分、Sessions II~VI の講演者は発表 15 分および質疑応答 15 分で準備をお願いいたします。
- 懇親会費および昼食代についての領収書は発行いたしかねますのでご了承ください。

2018 年 10 月 23 日 (火)

京都大学 複合原子力科学研究所

卞 哲浩